横浜天声キリスト教会　週報　第 17 巻 52 号（No.672）　2022 年 12 月 25 日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　ルカ 1:46b-49a ・・・・・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 126番　天にはさかえ
*交読文　・・・・・・・・・・・・・・・・ 57番
*使徒信条　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 125番　あら野のはてに
礼拝のための祈り　・・・・・・・ 成田エクレシア：河執事　天声：小林伝道師
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 111番　貴き宝
メッセージ　・・・・・・・・・・・・・・ 従順という貴き宝を捧げた夫婦(マタイ 2:13-15)
御言葉を適用する祈り　・・ 会衆一同
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 115番　諸人こぞりて
幸せと成功の宣言文 ・・・・ 会衆一同
献金感謝の祈り　・・・・・・・・ パスター
報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ クリスマス献金を用意しておられた方は、聖書の中に保管して、31 日の礼拝時にお捧げ下さい。31 日 21 時より、ニューイヤーズイブ礼拝を開始し、年末カウントダウンの後、年明けの 0 時から新年礼拝を行います。礼拝によって今年を終え、礼拝によって新年を初めましょう。
　なお、次週は元日が主日となり、0 時の新年礼拝を「一部礼拝」としますため、11 時の一部礼拝、および午後の英語礼拝はありません。成田では、元日朝 11 時より礼拝を行います。
*主の祈り　・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ 10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ 10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ 3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

　主によって語られたことは必ず実現すると信じきった____は、何と幸いなことでしょう。____は言った。わがたましいは主をあがめ、わが霊は、わが救い主なる神を喜びたたえます。主はこの____に目を留めてくださったからです。本当に、これから後、どの時代の人々も、____をしあわせ者と思うでしょう。力ある方が、私に大きなことをしてくださいました。その御名は聖く、そのあわれみは、主を恐れかしこむ者に、代々にわたって及びます。主は、御腕をもって力強いわざをなし、心の思いの高ぶっている者を追い散らし、権力ある者を王位から引き降ろされます。低い者を高く引き上げ、飢えた者を良いもので満ち足らせ、富む者を何も持たせないで追い返されました。（ルカ 1:45−53）

メッセージ概要

　神様は、博士たちのためには星さえ動かし、赤ちゃんとなって来られたイエス様の元へと導かれた。心から主に会いたい、ぜひ礼拝を捧げたい、と願う心のために、主は特別な便宜をはかって、特別な奇跡を起こし、特別な姿の主と出会わせて下さる。彼らは大いに恵まれて帰っていくが、主は彼らに、夢を通して、「ヘロデのところには戻るな」という戒めを与えたため、彼らはヘロデの所には寄らずに帰って行った。
　人をだましても、あるいは殺してもいいから、自分の思い通りに何事も貫き通したい、とするヘロデのような者は、主との出会いからも、恵みや奇跡からも、ことごとくスルーされてしまう。しかし、ヘロデとは逆に、主の前に、自分の願う事を全て捨て、主の御心に 100％従おうとする人の人生は、主の奇跡に満ちており、必要の満たし、敵の出し抜き、危機からの救いなど、主が間近に働かれる事の喜びに満ちた人生である。
　本日はクリスマスであり、今年最後の主日である。私達は今年、どれほど主の御心どおりに歩む日々が捧げられただろうか。あるいはどれほど、ヘロデのように汚れた歩みをしてしまっただろうか。今年最後の主日は、主イエス・キリストの育ての親となった男女が、主の前で高貴な従順を捧げた記録を見ていきたい。

　主は、御使いをヨセフに遣わして言った。『*幼な子とその母を連れて、エジプトに逃げなさい。そして、あなたに知らせるまで、そこに留まっていなさい。ヘロデが幼な子を捜し出して、殺そうとしている*』(13-15 節)
すると**ヨセフ**は「夜の内に」、幼子と母マリヤとを連れてエジプトに行った。母も相当な従順の持ち主である。
　子を産んだばかりの母親としては、夫には、なるべく外国に移住したりせず、安定した所で働いてくれて、自分は子を養う事に専念したい。そんな、目で見えて思い描けるような安心感が欲しい所かもしれない。
　しかし、安定そうに見えるものにこだわって、主の御言葉を退けてしまう生き方こそ、実は、安定からはかけ離れた人生となる。逆に、この目にいかに映れども、目や耳に従って歩まず、主の言葉どおりに歩む人の人生は、冒険的で、退屈しない、それでいて主にあって絶対的に安定した歩みである。それは、自分の思い通りにはできない歩みのように見えても、自分の思いをはるかに超えた幸せを得ていく毎日である。
　自分の思い通りに何かを強引に得ようとしても、それが主の御旨から離れた、汚れたものであるなら、主がそれを阻害して得させない、あるいは、たとえ得られたとしても、苦々しい刈り取りをする事になる。
しかし神の国とその義とを第一に求める人には、それに付け加えられて、全てが与えられる、と書いてある。

　マリヤは、主から示された夫の言葉に従った。それで夫婦は、夜の内にそこを発って、エジプトへ下った。従順はいけにえにまさる、と書いてあるが(1サムエル記 15:22)、この夫婦には、驚くべき従順の性質がある。それがあったからこそ、彼らには主から特別に「メシヤを養い育てる」という使命が与えられたのだろう。
　主に選ばれて、メシヤの育て親として任命されたこの男女の記録からにじみ出てくる日々を、世の人は「苦労の多い日々」と見るかもしれない。しかし私達は、彼らの歩みを、ひときわ香り高い「従順」といういけにえを捧げる、何より尊い日々、と見る。私達は地上においては艱難がある。病、不足、迫害など。しかしそうした日々せまり来る物事の中にあっても、主を信頼する信仰をもって、主に従い通した記録は、永遠の栄誉として残る。なぜなら、天国には、もはや病も、苦しみも、不足も、将来への不安も無い世界だからだ。
　この地上において、迫りくる苦労があっても、不足があっても、将来がわからなくても、病になっても、それでも、主に栄光を返して、主に従う、という従順は、天国ではもはや生産できない、永遠の尊い宝なのだ。それによって、天で10の町を治める権利が託されるか、それとも5の町を治める者になるか、決まるのだ。
　この地上において捧げた事の報いは、何も天国に入ってからしか得られない、というものではない。
『*よく聞いておくがよい。誰でも神の国のために、家、妻、兄弟、両親、子を捨てた者は、**必ずこの時代ではその幾倍もを受け**、また、きたるべき世では永遠の生命を受ける*のである。』(ルカ 18:29-30)

　今、この時、不便を感じるかもしれない、先行きが見えないかもしれない。しかし、そういう時にこそ、主を信頼する信仰の気高さを示して霊とまことを尽くした礼拝が捧げられるチャンスである。信仰の先人達は、迫害や不足、疫病などの中でも、主に対する霊とまことを尽くして、主の御言葉にしがみついて行った。
　私達も信仰の先人にならい、主に対する愛をもって忍耐し、聖なる動機から、高貴さをもって今の諸々に対処し、この艱難と闇の時代において「高貴にふるまった」という記録が、天の書物に書き記されていく私達でありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	11:30 開始
交わり	13～14 時
English Service	14 時半開始

日々の集会

月～金　早天祈祷会	5:00～
火・木・金　賛美と祈りの集会	13:00～
火～木　夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会　19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 17 巻 52 号　　2022 年 12 月 25 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@yahoo.co.jp